

2017年10月11日  
国際機関 日本アセアンセンター

**ASEAN 諸国の持続可能な観光促進のための研修  
「インタープリテーション計画研修」を実施**



清里高原の森でインタープリテーション技術を用いたビジター・サービスを体験する研修参加者

国際機関日本アセアンセンター(東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1階 事務総長:藤田正孝)は、ASEAN<sup>1</sup>加盟 10カ国から観光地の管理者および観光ガイド 17名を招聘し、ASEAN 諸国における持続可能な観光促進を目的とした「インタープリテーション計画研修」を、9月12日から15日にかけて東京都内及び山梨県清里にて初めて実施しました。

「インタープリテーション」とは、人々がある観光対象物に対して興味を持ち理解を深めることができるような説明をする技術です。観光分野では、観光地のスタッフがインタープリテーション技術を実践することにより、現地を訪れる観光客の観光資源の価値に対する理解が深まり、観光資源に関する知識とその保護に対する関心を持つ支援者の増加が期待されています。このような効果から、インタープリテーション技術は持続可能な観光の開発・管理・運営に必要なツールとされています。

本研修は、ASEAN 諸国の観光地におけるインタープリテーション技術の導入支援を目的に実施されました。参加者は専門家による講義に参加し、インタープリテーション技術を用いたビジター・サービスを企画するための「インタープリテーション計画」に必要な知識、調査、技術などについて学ぶとともに、各自が扱っている観光資源を分析し、同計画の組み立て方を実習しました。またその後、清里高原の森でのガイドツアーに参加し、インタープリテーション技術を用いたサービスを実際に体験しました。参加者からは、「研修で学んだインタープリテーション技術を活用していきたい」との感想が寄せられました。

<sup>1</sup> ASEAN (東南アジア諸国連合) とは、1967年に結成された地域協力機構。加盟 10カ国 (ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム) の総人口は6億3千万人を超える。

参加者に対しては、帰国後に本研修で得た知識とスキルを基にインタープリテーション計画を立て、実施活用していくことが期待されています。日本アセアンセンターでは、ASEAN 地域における持続可能な観光の実現を目指し、インタープリテーション技術の必要性を普及させるための事業を、今後も主要なヘリテージサイトで継続する予定です。

【関連サイト | 「インタープリテーション計画研修」】

<http://www.asean.or.jp/ja/tourism-info/20170927/>

<<概要>>

- ◆ 実施時期：2017年9月12日～9月15日
  
- ◆ 実施場所：江戸東京博物館（東京都）、公益財団法人キープ協会（山梨県）、  
ハヶ岳ロイヤルホテル（山梨県）
  
- ◆ 主 催：国際機関 日本アセアンセンター
  
- ◆ 協 力：Southeast Asia Tourist Guide Association (SEATGA)
  
- ◆ 参 加 者：ASEAN 加盟国の自然・文化・歴史遺産で従事するシニアインタープリター/ガイド  
並びに遺産管理者
  
- ◆ 研修内容：
  - 9月12日 江戸東京博物館視察
  - 9月13日～15日 インタープリテーション計画演習およびインタープリテーション体験

<<国際機関日本アセアンセンター>>

◆東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター  
ASEAN10 カ国政府と日本政府により 1981 年に設立。  
貿易・投資・観光・人物交流の4分野を中心に、ASEAN 商品の輸出促進、日系企業の進出支援、人材育成、日 ASEAN 間の観光促進等を通して、日本と ASEAN 諸国との関係促進に貢献する国際機関です。  
URL : <http://www.asean.or.jp/ja/>

\*\*\*\*\*

<<本リリースにおける取材のお問合せ先>>

国際機関日本アセアンセンター 観光交流部  
東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル  
TEL 03-5402-8008 FAX 03-5402-8009  
E-mail: info\_to@asean.or.jp

\*\*\*\*\*